

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和5年11月20日

事業所名 こばんはうさくら埼玉ふじみ野教室

保護者等数(児童数)

回収数 9

割合100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9件	0件	0件	0件	少人数では、十分だと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9件	0件	0件	0件	適切な資格を持った先生方なので安心して子供を通わせられます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9件	0件	0件	0件	生活空間に段差がなく、エレベーターも完備しておりバリアフリーの体制が整備されていると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9件	0件	0件	0件	親子教室や見学で度々訪れていますがいつも綺麗だと思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8件	1件	0件	0件	集団という特性上、学習面はあまり行っていない。	定期的に児童発達支援計画の評価を行い、達成度と効果を確認します。必要に応じて計画を見直し、改善を加えます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8件	0件	0件	1件		お子様の発達段階やニーズに合わせた個別支援プランを策定し、進捗をモニタリングにより遊びや学習の機会を提供し、発達の促進をサポートします。また、コミュニケーションスキルや自己調整能力の向上を促進します。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9件	0件	0件	0件	保護者の教室への希望なども聞いていただき、それに基づいて支援が行われていると思います。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9件	0件	0件	0件	プログラムが毎日異なり、様々なことを子供が吸収できると思います。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6件	1件	1件	1件		交流活動は、子どもたちの成長と発達を促進し、多様性を尊重する文化を醸成する一環として重要視して推進してまいります。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9件	0件	0件	0件		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8件	0件	0件	1件		お子様の発達段階や特性に合わせて、適切な教育プログラムや活動を提供し、また家庭や地域と連携し、包括的なサポート体制を構築します。保護者や地域のリソースを活用し、お子様の成長環境を整えます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7件	0件	2件	0件		保護者向けのトレーニングセッションを定期的に実施し、親の交流を通じて、お互いに助け合い、支え合う場を提供してまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9件	0件	0件	0件	体調面など特に何かあると伝えて、その日の様子をお伺いしています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9件	0件	0件	0件	見学や面談で悩みをご相談する際、アドバイス等助言を頂いています。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8件	1件	0件	0件	親子教室を利用させて頂いておりますが、連携はありません。	定期的なコミュニケーションを通じて、保護者同士の交流を促進します。オープンな対話を奨励し、意見や考えを共有できる場を提供します。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9件	0件	0件	0件	見学の希望をした際に、翌週の利用日に申し入れて下さいました。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9件	0件	0件	0件	リムで体調面やちょっとしたことなど、伝達ができると思います。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9件	0件	0件	0件	毎月くださる開放で拝見しています。	
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	9件	0件	0件	0件	顔にモザイクがかかっていました。		

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9件	0件	0件	0件	ホームページで拝見しました。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8件	0件	0件	1件		災害発生時の対応プランを策定し、適切な手順と役割分担を確立しています。プランは定期的に見直し、改善しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9件	0件	0件	0件	利用日でない日も「さくら行くー」と言っています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	9件	0件	0件	0件	一人ひとりの発達度合いに応じて対応していただいていると思います。	

児童発達支援自己評価表

公表: 令和5年11月20日

事業所名

こぼんはうすさくら埼玉ふじみ野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8件	0件	教室の備品等、利用者数に応じて対応している。	定期的な安全検査と評価を実施し、スペースが安全かつ効率的に使用されていることを確認します。安全に関する問題が発見された場合、迅速に対処します。
	2	職員の配置数は適切であるか	6件	2件	コロナ及びインフル等で、相対的に職員数が不足していると感じられる場合、特に安全管理面において職員間で共有し対策を講じています。	利用者の安全と健康を確保するために、必要な職員の配置を考慮します。特に、緊急事態に対応するためのトレーニングを受けたスタッフの配置を重視します。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8件	0件	物品等の配置はシンプルに整理、照明を適切に設計、また段差を解消し、移動を容易にしています。障害のある人々にとってわかりやすい構造化を重視しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8件	0件	備品等の定期整備に努め、物品愛護に努めるとともに、感染防止対策として、朝夕の定期的な消毒に心がけています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8件	0件	プロジェクトや改善活動に関する情報共有を行うために、定期的な会議や情報共有の機会を設定し、コミュニケーションの透明性を高め、職員がプロジェクトに関与しやすくしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8件	0件	いただいた意見は、すぐに対応可能なものと、検討が必要なものに区分し業務の改善に努めております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8件	0件	今回行った事業所の自己評価や、保護者向け評価を受けて改善した内容を速やかに保護者様に通知し、また本部のHPに掲載してお知らせいたします。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0件	8件	地域のボランティアや外部の方の視点を入れて第三者による外部評価について、今後検討してまいります。	現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8件	0件	本部が実施する指導員向け研修、また児発管研修、児童虐待防止研修、事故事例対策研修等に参加いたしました。	職員には、スキルや知識の向上に関連する成長機会を提供し、学習と専門性の発展を奨励します
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8件	0件	アセスメントに基づき、お子様の課題評価を毎日実施し、月末に職員間で振り返り、成果分析しております。また、その内容は保護者に連携させていただいております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8件	0件	職員がお子さまの目標や日々の活動の狙いを可視化できるよう共通のアセスメントツールを使用しております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8件	0件	・発達支援(本人支援及び移行支援): 児童の発達ニーズに合わせた支援を提供するための具体的な支援計画を策定しています。子ども自身が成長し、スキルを獲得するための支援が含まれます。 ・家族支援: 家族支援プランを個別支援計画と併用して策定し、家族が子どもの発達にどのように協力し、サポートするかを明示しています。 地域支援: 地域のリソースやサービスを活用して、子どもの発達支援を促進する方法が計画を計画しています。地域の施設や専門家と連携し、子どもが適切なサポートを受けられるように参画しています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8件	0件	現状において目的を達成するためには何が問題となっているのか、何が改善される必要があるのかを明確にして、課題を解決するためにどのような行動をとり、どのような成果を出す必要があるかを情報共有しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8件	0件	活動プログラムの終了後、全員で成果を評価し、フィードバックを収集します。次回のプログラムの改善点を特定し、学んだ教訓を活かして次のプログラムに活かしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8件	0件	プログラムを柔軟に設計し、状況に応じて調整できるようにしています。予期せぬ出来事に対応するためのプランBを備えることも考慮しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8件	0件	定期的に子どもの進捗状況を評価し、計画を調整する仕組みを構築しています。子どもの成長に合わせて目標や活動を変更することが必要な場合、柔軟に対応しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8件	0件	その日の療育支援の目的と目標を明確に確認するため、何を達成しようとしているのかを理解しています。このため各職員の具体的な役割と責任を明確にし、誰がどのタスクを担当し、どの職員がどの面でサポートするかを確認し、重複や抜け漏れを防止しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8件	0件	各職員が、その日の支援活動について自身の観察、気付き、評価、提案を共有できるようにオープンで率直な意見交換を重要視しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8件	0件	記録を分析し、定量的および定性的データを収集することに心がけています。また、記録を活用したトレーニングや継続的な職員教育プログラムを導入し、データの効果的な使用を支援しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8件	0件	子どもの進捗データ、評価結果、支援活動の記録などの情報を収集。評価の結果に基づいて、必要であれば児童発達支援計画の目標を見直し、目標が現実的で達成可能なものであることを確保します。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8件	0件	新規に設立された発育発達支援センターでのサービス担当者会議に参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件	2件	母子保健、子育て支援、教育、健康、精神保健など、異なるサービス領域から網羅的な支援を行い、包括的なアプローチを検討してまいります。	関係者や機関と適切な情報共有と連絡体系を確立することで、支援内容や進捗状況を透明にし、効果的な連携を実現していきます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0件	8件	現在対象者がおりませんが、必要な場合には、医療専門家、ソーシャルワーカー、教育者、保育士などと協力し、包括的なケアを提供します。		

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0件	8件	現在対象者がおりませんが、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育関係機関との連携により、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもに包括的な支援を提供し、子どもと家族に最適なサービスを提供します。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	1件	幼稚園等へ支援内容について、情報共有をすることに努めていますが、連携が図れる機会が少なかつたため、今後定期的に行えるように努めていきます。	移行支援は子どもと家族にとって重要な過程であり、円滑かつ成功裏に進行させるために、情報共有と相互理解が不可欠と考えています。このため関係機関との協力とコミュニケーションを強化してまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	1件	移行支援内容について、情報共有をすることに努めていますが、連携が図れる機会が少なかつたため、今後定期的に行えるように努めていきます。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6件	2件	十分な連携ではありませんでしたが、新規に設立された発育発達支援センターと連携を深め、栄養指導面で管理栄養士による現場指導をサポートしていただいた。	関係者や関係機関との協力体制を確立します。役割分担や連携プロトコルを明確にし、連携に関する合意を取り交わします。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0件	8件	新型コロナウイルス、インフルエンザの影響により交流の場が無かつた。	障害のある子どもと障害のない子どもが共同で活動し、交流することは、相互理解と包括的な教育の促進に寄与します。定期的に交流イベントを開催し、障害のある子どもと障害のない子どもと一緒に楽しい時間を過ごす機会を模索してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6件	2件	十分な参加はできませんでしたが、地域の情報を共有して子ども達やご家族への支援に役立てるようにしていきたいと思ひます。	関連する専門家、地域の指導者等と積極的に連絡をとり、ネットワークを構築し、協議会や会議での貢献に反映させます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8件	0件	情報や進捗状況について透明性を持ち、保護者が理解しやすい方法で情報提供を行っています。また、専門用語を努めて避け、理解容易な言葉で説明に心掛けています。	専門家や教育者からアドバイスを受け、共通の理解を深める。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件	3件	十分な家族支援プログラムを提供できませんでしたが、療育を通じて特に効果のあつたものを選定してペアレント・トレーニングに繋げていきたいと思ひます。	テーマについて、保護者様からの意見も取り入れながらより良い内容を計画していきたくと思ひます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8件	0件	ご利用を始められる際に、保護者の方へ説明をしています。運営規程については、常時閲覧ができるように掲示しています。	保護者に情報提供を行うため、複数のコミュニケーション手段を提供します。会話、資料、ウェブページなど、利用者にとってアクセスしやすい方法を提供します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8件	0件	保護者の方と面談を行い、児童発達支援計画の目標やどのように支援を行っていくかの説明を行い、保護者の方から同意をもらっています。また、支援計画はコピーして保護者の方にお渡ししています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8件	0件	保護者の方より相談があつた時は、その都度応じています。また、定期的に行っている面談の時にも相談に応じています。	解約したご家庭への訪問を不定期ではありますが、今年度は実施しており、今後も継続的に実施していく予定です。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8件	0件	今年度は対面形式で保護者会を開催。事前にテーマをお伝えし、情報提供と質疑応答形式により実施しました。	今後も保護者の方々が連携を取ったり、意見交換ができるよう、親の集まりやOB会など支援する機会を提供していきたいと思ひます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応している	8件	0件	相談の申入れがあつた時は、相談内容に応じて適切に対応できるように努めています。何か困りごとや相談がある時には、遠慮なく伝えて頂くように送迎時にお伝えしています。	

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8件	0件	定期的に療育に関する会報を発行しています。また、新型コロナウイルスの影響により運営時間の変更等の連絡事項がある時はその都度お知らせを発行し情報共有を計っております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8件	0件	職員からは個人情報の取り扱いに對しての誓約書を取っています。個人記録ファイルは鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8件	0件	イラストや絵カードを使って持ち物整理や活動などが分かりやすいように可視化する配慮をしています。また、保護者へは連絡帳や、電話、お手紙で情報伝達を行っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8件	0件	十分とは言えないが、市が計画する「ふれあい広場作品展」に出展し、広く市民に活動の様子などを公開している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8件	0件	各マニュアルは作成し、保護者も確認できるように教室に掲示しております。しかし、保護者への浸透については不十分な側面もあると思います。様々な災害や危険に備えた訓練を引き続き継続して実施し、保護者様に周知していきたいと考えております。	保護者への周知については、現在は 教室 内での掲示に留まっているが、今後はホームページを通じて保護者にも周知する機会を作っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8件	0件	地震、火災、不審者対応、水害等の様々な危機や災害を想定した避難訓練を行っています。消防署からの施設点検も合わせて実施しております	法的に定められた回数に拘らず、多くの利用児童が参加できるように、零細 時間を活用して回数を増やしていきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8件	0件	利用開始前の面談時に確認を行っています。情報は職員間で共有してお子様の健康管理に努めています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8件	0件	利用を開始する時の面談にてアレルギーの有無を確認しています。現在、食物アレルギーのある方はおりませんが、アレルギーのある方が利用される時は、食事の提供の仕方について十分に保護者の方と協議し、医師の指示書に基づいて対応します。必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送先 などの取り決めを保護者と行い、医師にも確認してもらっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8件	0件	ヒヤリハット報告書を作成し、回覧して情報共有、改善している。	各事例を詳細に分析し、原因を特定します。事例の背後にある問題や課題を理解し、再発防止策を考えます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8件	0件	虐待につながる要因をチェック化して共有化しています。特に職員がストレスやバーンアウトしないように定期的に面談を実施して事故の未然防止を図っております。	実際の症例スタディや模擬演習を通じて、職員に虐待の兆候を識別し、適切な報告手続きを学ばせます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8件	0件	身体拘束に関する説明(緊急時やむを得ない場合)を行い、保護者様の意向・同意を確認し記名・捺印を頂いている。緊急時やむを得ず身体拘束を行う場合がある事については、児童発達支援計画に記載を行っています。	

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。